

# -地域と大学を結ぶ- りえぞん No.5

編集発行：武庫川女子大学 教育研究社会連携推進室

## 充実する本学の地域連携活動

本学の平成30年度後半の社会連携活動の主立った事例の概要を以下に紹介する。

### 【 日本語日本文学科 】

#### 22 か国からのゲストを招き日本語で多文化交流を実施

日本語日本文学科が22か国からのゲストを招き「日本語による多文化交流活動」を1月5日に開催。ゲストは昨年9月に来日された国際交流基金や関西国際センター（大阪府泉南郡田尻町）で日本語研修を現在受けておられる各国若手外交官、公務員の方々。本学からは同学科の授業「異文化間コミュニケーション」（担当：上田和子教授）「日本語教材研究Ⅰ」（担当：野畑理佳准教授）の履修者を中心に、本学への留学生も加わり計44人の学生が参加した。



本学 HP より

### 【 英語文化学科 】

#### 2018/10/7 学習指導ボランティア「ふでばこ」の活動が「日本財団」の助成対象に選定

英語文化学科と関西学院大学教育学部による、外国にルーツを持つ児童への学習指導ボランティア「ふでばこ」が、(公財)日本財団から助成を受けた。学習指導ボランティアの対象は、外国にルーツを持ち、日本語の習得が十分でない、または母国と日本の学習内容の違いにより学習に躓いている西宮市内の公立小・中学校に通う児童。

また、活動幅を広げるため、1月19日に埼玉県川口市の芝園団地で同様の活動を行う学生ボランティアグループ「芝園かけはしプロジェクト」の活動を視察。飛び入り参加もし、お互いの活動の説明、意見交換を行った。



本学 HP より

### 【 健康・スポーツ科学科 】

#### ららぽーと甲子園で「姿勢体幹体操ハロウィンLIVE」イベントが開催。産学連携として本学大学・短大の健康・スポーツの学生が活動

ららぽーと甲子園で10月14日、「姿勢体幹体操ハロウィンLIVE」イベントが開催された。これは、幼児の姿勢改善や体幹強化を目的とする一般社団法人 X-PORT JAPAN と、健康・スポーツ科学科4年Dクラスと短期大学部健康・スポーツ学科2年穂原ゼミが運営しているプロジェクトである。



本学 HP より

#### 「第8回とよのまつり」で武岡ゼミの学生が「とよの健康体操」を披露

11月11日に大阪府豊能町で開催された「第8回とよのまつり」で、本学健康・スポーツ科学部の武岡健次准教授監修、同学科0Gの江川薫氏振付の「とよの健康体操」が披露された。これは従来本学と豊能町で連携開催してきた健康セミナーで取り上げた転倒予防、足腰強化などの運動を盛り込み、なじみの歌謡曲に合わせて立っただけでも座っただけでもできる体操に仕上げた。

## フィリピンのセブ島でダンスを通じた国際貢献活動を実施

健康・スポーツ科学科の学生14名が2019年2月9～19日の間、フィリピンのセブ島でダンスによる国際貢献活動を実施。この試みは、音楽教育で貧困地域に住む子供たちを支援するNPO法人セブンスピリットの協力を得て行われた。今回学生はそのプロジェクトのダンスチームとして、ダンスの指導と、振付、構成を行った。



本学 HP より

### 【生活環境学科】

## 生活環境学科建築デザインコースの学生が参加した GRM5 プロジェクトが、「第15回集合住宅再生・団地再生・地域再生学生賞」の奨励賞を受賞

GRM5 プロジェクトは、既存住宅ストックの活用を、企業・他大学と連携して実施した実践的プロジェクト。関西学院大学都市政策学科、大阪大学地球総合工学科と本学生活環境学科が、事業主である大阪建設㈱（大阪市・西宮市）が運営する尼崎市武庫之荘にある木造2階建共同住宅のリノベーションに、各大学2住戸ずつ実施案を設計し、基本プランを提案し完成し入居者に好評である。

## 浜甲子園団地に本学学生がDIYした手作りカフェがオープン

（一社）まちなね浜甲子園が浜甲子園団地エリア住民の繋がりと外出のきっかけになる場を目指して、10月14日にカフェ『OSAMPO BASE』を団地内にオープン。本学生活環境学科の1～3年生11人が参加し、店舗のイメージから検討を始め、「机とベンチ製作」「壁面緑化と壁紙貼り」「ロゴ／看板製作」を、浜甲子園団地の住民と共に製作した。



本学 HP より

## 「またあしたプロジェクト」が「人間サイズのまちづくり賞」奨励賞を受賞

兵庫県主催の第20回「人間サイズのまちづくり賞」のまちづくり活動部門で、生活環境学科が関わってきた芦屋浜高層団地集会所での団地再生の「またあしたプロジェクト」が奨励賞を受賞した。「人間サイズのまちづくり賞」は、兵庫県が、県民の参画と協働による「人間サイズのまちづくり」を推進するために創設し、優れたまちなみや建築物および功績のあった団体等を顕彰している。

本プロジェクトは団地住民・県住宅供給公社・本学が連携する実践的プロジェクト。多世代が相互に関わる「場のデザイン」とコミュニティーマネジメントを目的に活動を進め、域学連携で地域のコミュニティーの再生を目指している。



本学 HP より

## 小豆島土庄町で『移住』に関する調査結果を報告

生活環境学科都市・生活研究室（水野優子ゼミ）は、昨年9月に香川県・小豆島土庄町とともに近年同町への移住者を対象に、移住に関する調査研究を行い、3月8日に土庄町域学連携交流施設（夢すび館）において、移住の経緯や生活課題、将来意向などに関する調査結果を報告した。

### 【食物栄養学科】

## 企業と研究交流会を実施

食物栄養学科 有井康博准教授（専門：食品科学）研究室と第一工業製薬㈱（本社：京都市）の第一回研究交流会が2月7日、中央キャンパスのRECEPTION PARKで行われ、同研究室所属の3・4年生が参加。同研究室では、「未来型食品の提供に向けた食品素材の開発」を目的に、2018年末から同社との共同研究を開始している。

## 「大森屋」と食物栄養学科がコラボレーションした「海苔レシピコンテスト」を開催

「第4回！大森屋×武庫川女子大学 海苔レシピコンテスト」が2月26日、本学の栄養科学館2階の調理実習室で開催された。「海苔」の新たな可

能性と良さを引き出すレシピ開発に、本学食物栄養学科の学生が挑戦。1～3年生を対象に募集をした結果、27作品の応募があり、一次審査を通過した学生10組が実際に18作品の調理を行った。



本学 HP より

### 【 情報メディア学科 】

#### モニターツアー「かわちながの まるごと狩り」を開催

大森いさみ教授のゼミ生7人と大阪大学大学院工学研究科院生1人の計8人が、9月17日にモニターツアー「かわちながの まるごと狩り」を開催。農業や観光を中心とした同市の魅力をSNSやツアーの実施を通して発信した。本ツアーは、同グループが2017年12月に開催された大学生による「OSAKA 観光まちづくりコンテスト2017」で、河内長野市の地域資源や魅力をテーマにプレゼンテーションを行い、大阪府知事賞を受賞したことがきっかけとなり、河内長野市と本学の産官学連携プロジェクトとして開催した。



本学 HP より

#### NTT タウンページの特集記事を担当

丸山健夫ゼミの4年生13人が、阪神エリア全戸世帯に配布されるNTTタウンページの冒頭の特集ページを担当。阪神南版と尼崎市版では、甲子園球場の歴史や酒蔵探訪など地元のトピックを取材し10ページの、阪神北版では4ページの記事を作成。



本学 HP より

さらに、紙面に印刷されたQRコードから、関連する動画や360度映像を閲覧できるようにするなど、紙媒体とネットを連動させたクロスメディア発信にも挑戦した。

#### 「広告メディア演習」で、西宮のバッグメーカー JIB（ジブ）の30秒CMの最終発表会を実施

学生が企業のテレビCMを制作する「広告メディア演習(2年後期)」の最終発表を1月21日に実施。この授業は企業から提示された課題に取り組むPBL(Project-Based Learning)で、これまでに大阪市水道局、NTT西日本、白鷹のCMを制作し、今年度は昨年度に引き続き、西宮市が本社のバッグメーカー「株式会社JIB（ジブ）」と連携し、13グループが作品を発表した。



本学 HP より

#### 産学官連携西宮ブランド産品創造事業に参画し、千鳥屋宗家とのコラボで新製品を完成

藤本憲一ゼミ3年生14人が西宮の新名産品・特産品を作る「平成30年度産学官連携西宮ブランド産品創造事業」に取り組み、千鳥屋宗家とのコラボ企画による新商品「Amour Amande（アムール・アマンド：「アーモンドへの愛」の意）を完成させた。



本学 HP より

### 【 建築学科 】

#### 「まちたびにしのみや」の案内役を務める

西宮観光協会主催の「まちたびにしのみや2018 甲子園モダニズム建築探訪」が2月23日に実施され、甲子園会館のガイドを本学建築学科の学生が

務めた。「まちたびにしのみや」は、西宮市が都市型観光振興の一環で2012年に「西宮・まちを旅する博覧会」(通称「西宮まちたび博」)という名称でスタート。当初より、「甲子園モダンイズム建築探訪」として甲子園会館を見学するルートが設定されており、毎回甲子園会館のポイントガイドを本学建築学科の学生が務めている。



本学 HP より

### 【 共通教育 】

#### TOWER mini ららぽーと甲子園店に、西宮出身アーティストを紹介するPOPを展示

西宮出身のシンガーソングライター「あいみょん」の11月新曲リリース時に、「TOWER mini ららぽーと甲子園店」で、前期の共通教育科目「音楽を通してみる世界(短大 学び発見ゼミ、食生活学科 長谷川裕紀講師)の受講生作成のPOPが飾られた。同店と連携し、来店者数増とCD購入促進のために、他店舗との比較やCDを持つ魅力勘案し、授業で「本学の学生がアーティストや楽曲の魅力伝えるPOPをデザインする」案が採用された。

### 【 広域大学連携科目 】

#### 広域大学連携科目の修了証書授与式を開催

関西の5大学(大阪電気通信大学、大阪薬科大学、武庫川女子大学、藍野大学、森ノ宮医療大学)が連携して、共通講座を開講する大学間連携事業の修了証書授与式が2月27日、武庫川女子大学中央図書館2階グローバル・スタジオで行われた。

今年度の修了生はのべ172人。大学間連携事業は、医療・福祉・工学等の幅広い領域に精通した、高度な知識や技能を持つ人材を育成しようと2008年に始まり、これまで延べ1613人の修了生を輩出。



本学 HP より

### 【 国際健康開発研究所 】

#### 食育講座を開催

国際健康開発研究所 食育グループHealthy+は、9月6日に甲子園会館西ホールで、「食べて!歌って!Enjoy 食育特別講座」を開催し、家森幸男教授の講演、Healthy+の食育先生の健康ランチ試食等が行われた。浜甲子園団地をはじめ、多くの近隣住民が参加した。



本学 HP より

#### 灘の酒蔵「白鶴」と武庫川女子大学及び同附属高校が「さけうま雑炊」を共同開発

「白鶴酒造」と本学国際健康開発研究所、及び附属高校の生徒が、原材料と健康にこだわった新商品「さけうま雑炊」を共同開発し、12月10日から発売されている。

同商品は、白鶴酒造と同研究所で食育を学ぶ学生・生徒・一般主婦らが共同で「ヘルシー&バランス」を合言葉に開発した雑炊で、栄養バランスの良い食事を目指す「まごわやさしい(※まめ、ごま、わかめ、やさい、さかな、しいたけ、いも)」の7つの和食材を使ったフリーズドライ食品。同酒造が開発した酒米白鶴錦や、発酵食品の酒粕、西宮産の小松菜も使用されている。



本学 HP より

### 【 ひょうご理系女子未来塾 】

#### 2つの企画を開催

11月10日に「ひょうご理系女子未来塾」(理系分野を目指す女子中学生対象の教育プログラム)が、キッズニア甲子園と理化学研究所でそれぞれイベントを開催。キッズニア甲子園では、参加の女子中学生が職業体験とキャリア講座を受講。理化学研究所では11月23日に行われるスーパーコンピュータ「京」の広報活動の一環として、中高大学生を中心に募集された「一般公開スペシャル

広報チーム」に2名の女子中学生が参加した。



本学 HP より

### 西宮市立上甲子園中学校で、トライやる・ウィークに向けた職業体験講演を開催

同塾は活動の一環として2月25日、西宮市立上甲子園中学校の一年生194人を対象に、今年のトライやる・ウィークに向けた職業体験講演を開催。同ウィークは開始から20年が経過しており、大学と地域の中学校が連携し、地元を中心とした企業と協力して体系的なプログラムを考案中で、今回の取り組みはそのモデルとなるもの。講演には生徒・保護者や受け入れ先の事業者らも参加した。

#### 【 バスケットボール部 】

### 関西大学とバスケットボールフレンドリーマッチを開催

11月19日、本学と関西大学とのバスケットボールフレンドリーマッチが、本学で開催された。大学のスポーツ振興を目的としたこの試合は、本学が平成30年度スポーツ庁委託事業「大学スポーツ協会（UNIVAS）創設事業（大学スポーツ振興の推進）」の一環として、また11月28日に本学と関西大学との間で締結される連携協定に先立ち、スポーツ交流事業として実施された。

### 地域貢献推進委員会活動

### 学院創立80周年記念行事「防災シンポジウム-考えておかなければいけないこと-」を開催

学院創立80周年記念行事シンポジウム「防災シンポジウム-考えておかなければいけないこと-」（主催：本学地域貢献推進委員会、後援：鳴尾連合自治会）が12月8日、メディアホールで開催された。第1部は、兵庫県立大学 減災復興政策研究科 森永速男教授が『南海トラフ地震は必ず来る！！-その備えと心構え-』と題して基調講演、第2部は、『災害に対する”公”の対応』の取り組みとして、県・市の職員より、武庫川の治水、港湾部の津波・高潮対策、「西宮市防災マップ」について説明があった。第3部は『災害に対する”私”

の対応』として本学教職員と鳴尾連合自治会、講演者の10名によるパネルディスカッションと、総務委員の学生が学生470名に対して行った「防災に対するアンケート調査」の結果を発表した。



本学 HP より

### 地域・自治体等との連携

### ららぽで「武庫女スマイルフェス」を開催

本学主催、三井不動産株式会社協賛で、ららぽーと甲子園との合同イベント「武庫女スマイルフェス」を2月16・17日に開催。本学の9団体の学生たちが、6か所のイベントブースを使って自分たちで考えたイベントやワークショップの開催、企業とコラボした物品販売などを行った。



本学 HP より

### 「キッズスポーツパーク武庫女」を開催

本学主催、(公財)西宮スポーツセンター協力のもと、2月16日(土)に本学中央キャンパス体育館で「キッズスポーツパーク武庫女」を開催。本事業はスポーツ庁の委託で、市内の小学生を対象にスポーツの多種目体験の機会を提供している。

当日は本学のスポーツ施設を利用して、小学1年生から6年生までの参加者約40人が、学生やコーチの指導の下、バスケットボール、ハンドボール、新体操、体操の4種目を体験した。



本学 HP より

### 関西大学と包括連携協定を締結

11月28日関西大学梅田キャンパス KANDAI MeRISE ホールで、本学と関西大学が包括連携協定の調印式を行った。両学の本格的交流は、2008年度に文部科学省の戦略的大学連携支援事業(GP)に採択された「臨床医工学・情報学」の教育システムを共同で構築したのがきっかけ。2016年度には関西大学の先端科学技術推進機構と学術協定を結び、本年度にはスポーツ庁委託事業「大学スポーツ協会(UNIVAS)創設事業(大学スポーツ振興の推進)」の一環で、バスケットボールの親善試合を行うなど、多分野で交流を深めている。これらの実績から、教育・研究や産学連携、地域貢献等の幅広い分野で相互に協力するため今回の締結に至った。



本学 HP より

### 阪神電気鉄道株式会社と包括連携協定を締結

本学・本学短期大学部と阪神電気鉄道(株)は、12月10日、本学グローバル・スタジオで、教育・文化・街づくり等幅広い分野で相互協力する包括連携協定の調印式を行った。本学が産業界と包括連携協定を結ぶのは今回が初となる。本協定は、鳴尾駅高架下に本学と地域の交流拠点となる「武庫女ステーションキャンパス」の整備を機に、鳴尾・甲子園を中心とする地域の活性化を目指す。



本学 HP より

### 神戸大学と連携協力に関する協定を締結

本学は、神戸大学大学院保健学研究科・医学部保健学科と連携協力に関する協定を12月19日付で締結。両機関が有する知識・経験・研究環境を有効活用し、教育研究に係る活動の有益な連携・協力により、両機関共同での教育研究を促進する。

### みなと銀行と産学連携協力協定を締結

本学・本学短期大学部と、(株)みなと銀行は1月23日、本学2階グローバル・スタジオで、教育・研究に係る産学連携協力協定の調印式を行った。本学が金融機関と連携協定を結ぶのは初めて。連携協定の締結により、みなと銀行鳴尾支店は、武庫女ステーションキャンパス(9月開設予定)に移転。大学施設内にある銀行として、営業時間外のロビーの一般開放や、学生専用の「知るカフェ」の併設など、ユニークな店舗づくりに取り組む。



本学 HP より

### 「第3回 研究成果の社会還元促進に関する発表会」を開催

教育研究社会連携推進室主催の「第3回 研究成果の社会還元促進に関する発表会」を2月22日、中央図書館2階グローバル・スタジオで開催。本発表会は研究成果を学内外に広く告知し、実社会での活用につなげることを目的としている。奈良女子大学大学院の才脇直樹教授(生活環境科学系衣環境学領域)による基調講演『女子大がリードするオープンイノベーションと未来社会』の後、『健康・医療』『文化・スポーツ振興』『産業振興・地域活性』のテーマで本学の10組の教員が研究成果を発表。その後、各発表者のポスターセッションでは、発表者が共同研究者や学生とともに、参加者と熱心に交流する姿が見られた。

発表内容は教育研究社会連携推進室 HP を参照されたい。[\(http://www.mwu-shakairenkei.jp/\)](http://www.mwu-shakairenkei.jp/)



本学 HP より

◆ ◆ ◆  
連絡先：本館5階 社会連携推進課 中村・荻田  
内線：6211、6213 / E-mail: shakai@mukogawa-u.ac.jp